情報をデザインする紙製品の
トータルサプライヤー
KING CORPORATION

3-25 2019
平成7年11月30日第3種郵便物認可
PRINTING JOURNAL.NO. 782
毎月5日・15日・25日発行

印刷ジャーナル

発行所＝印刷時報株式会社
URL http://www.pjl.co.jp/
電子メール info@pjl.co.jp
大阪市都島区中野町4−4−2 電話 06(6358)1561(代)
郵便番号534−0027 FAX 06(6358)1562
振替口座 大阪 00900−0−53365
東京都千代田区神田佐久間町2−25 電話 03(6808)1581
郵便番号101−0025 FAX 03(6808)1582
購読料前納＝年間10,800円(税込)

中古印刷機・他 買取ります
査定無料です
株式会社インターテック
電話: (0797) 26-0026
♪お気軽に電話ください♪
メール：itc@interteck.co.jp

東レ

VOCフリーを実現

軟包装用水なしオフ輪機を共同開発

東レ㈱（東京都中央区、日覺昭廣社長）は、NEDO事業において、印刷機械メーカーなどと協力し、食品や生活用品など身近な商品の軟包装材向け印刷用に世界初となる水なしオフセット印刷機を共同開発した。同印刷機は、印刷工程に揮発性有機化合物（VOC）を含む液体（湿し水）を使わない水なし印刷方式を採用しており、環境に配慮した印刷が可能。さらに東レ独自の水なし平版と省電力LED―UV技術によるインキ乾燥方式と組み合わせることで軟包装用印刷のVOCフリー化と従来の印刷方式に比べて約80％の消費電力削減を実現する。

東レは、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のプロジェクトにおいて、VOCフリー化や省電力性など環境性能の高い軟包装用水なしオフセット印刷システムの開発を2016年度から開始し、2017年度には印刷機メーカーの㈱ミヤコシ、印刷用インキメーカーの㈱T&K TOKA、ならびに印刷システムのユーザーである光村印刷㈱が参画して、開発を推進してきた。そして今回、システムの中核となる世界初の軟包装用水なしオフセット印刷機を開発した。

今回、開発された軟包装用水なしオフセット印刷機は、東レ独自の水なし平版と水溶性UVインキとの併用により、印刷時にVOCを含む液体（湿し水）を使う必要がないほか、印刷後の設備などの洗浄にVOCが発生しない水系洗浄液を利用できる。加えて、省電力性が高いLED―UVを使ったインキ乾燥方式を組み合わせることで、溶剤乾燥と排気処理が不要となる。これにより、グラビア印刷方式に比べてVOC排出量の98％以上の削減と、印刷機1台あたり約80％減となる年間96万kWhの電力消費量の削減を実現する。

さらに、この軟包装用水なしオフセット印刷システムでは、VOCフリーシステムによって排気処理装置や防爆対応設備が不要となるほか、平版の使用により版代コストを安く抑えられる。設備導入コストとランニングコストを低減できるため、軟包装用印刷の多品種化・小ロット化が進む市場に優れたパフォーマンスで対応することができる。

東レは、世界が直面する「発展」と「サステナビリティ（持続可能性）」の両立をめぐる問題の解決に向けて、革新技術・先端材料の提供によって本質的なソリューションを提供していく。今回開発した水なしオフセット印刷機と水なし平版、水溶性UVインキを組み合わせた軟包装用水なしオフセット印刷システムは、その取り組みの一貫として印刷業界の環境負荷低減に貢献していく。

なお、同印刷機は3月18・19日にミヤコシが開催したオープンハウスにおいて、参考出品され、印刷実演が披露された。

ミヤコシが開催したオープンハウスで実機を公開

特集 デジタル印刷 2面～10面

凸版印刷

新社長に麿秀晴氏

麿 秀晴 氏

凸版印刷㈱は、3月14日開催の取締役会において、代表取締役の異動について決議し、代表取締役社長に麿秀晴氏（代表取締役副社長執行役員）が就任する人事を発表した。6月下旬に開催予定の定時株主総会および取締役会において正式決定する。なお、現代表取締役社長の金子眞吾氏は代表取締役会長に就任、現代表取締役会長の足立直樹氏は特別相談役に就任する予定。

金子眞吾氏は2010年6月に社長に就任し、今年6月をもって、在任期間9年を迎える。就任から推し進めた「グループを含めた構造改革の遂行」「新事業・新市場の創出」「グローバルな事業展開の加速」に目処がついたことを機に、トップの若返りも含め、今回の人事に至ったもの。麿新社長の体制下で印刷テクノロジーをベースとした研究開発力と生産技術力に磨きをかけるとともに、グローバル経営をより深化させ、企業価値の向上を図る考え。

【麿秀晴（まろ ひではる）氏】

1956年1月29日（63歳）。1979年4月に入社。2002年からパッケージ事業本部で相模原工場長、製造技術本部長、第三営業本部長兼海外本部長を歴任。2009年4月には関西事業本部副事業本部長、同6月に取締役に就任する。

2011年4月には国際事業部長、2012年6月に常務取締役に就任。2013年4月から1年間はシンガポール支社長をつとめ、2014年に経営企画本部長及び国際事業部担当に就任。その後、2016年に専務取締役、2018年に代表取締役副社長執行役員に就任。現在に至る。

日本WPA

HPをリニューアル

（一社）日本WPA（田畠久義会長）は、3月18日、ホームページをリニューアルし、公開を開始した。

今回のホームページのリニューアルにより、さらに読みやすく、親しみやすく、充実した内容に改善が施されている。

【日本WPAホームページ】http://www.waterless.jp

リニューアルオープンしたホームページ

2月印刷・情報用紙3.2％減

日本製紙連合会が発表した2019年2月の紙・板紙需給速報によると、紙・板紙の国内出荷は前年同月比1・9％減で、4ヵ月連続の減少。うち、紙は3・8％減で21ヵ月連続の減少、板紙は0・4％増で2ヵ月連続の増加となった。

印刷・情報用紙の国内出荷は前年同月比3・2％減で2ヵ月連続の減少。輸出は24・4％減で4ヵ月連続の減少となった。

その他の品種では、新聞用紙が前年同月比10・5％減で16ヵ月連続の減少となったほか、包装用紙が0・3％増で5ヵ月連続の増加、衛生用紙が1・5％増で2ヵ月連続の増加、段ボール原紙が1・0％増で2ヵ月連続の増加、白板紙が2・0％減で3ヵ月連続の減少となった。

視点の行方

世界全体の3Dプリンティング支出額

IDC Japan

2019年は138億円と予測

IDC Japan㈱（竹内正人社長）は、このほど世界全体の3Dプリンティング市場の支出額予測を発表した。

それによると2019年全世界の3Dプリンティング（ハードウェア、造形材料、ソフトウェア、サービス）の支出額は前年比21・2％増、約138億ドルに達するとしている。そして、5年間の年間平均成長率（CAGR）を19・1％、2022年には支出額が全世界で約227億ドルとなると予測している。

3Dプリンティング支出額の大部分は3Dプリンターハードウェアおよび造形材料の支出で、2019年の支出額は、それぞれ53億ドルおよび42億ドル。これら2つのセグメントを合算した支出額は、5年間の予測期間を通じて全支出額の3分の2以上を占める見通し。次に大きいのは、38億ドルの3Dプリンティングサービスで、オンデマンドパーツサービスおよびシステムインテグレーションサービスが続いている。成長率が高いのは造形材料およびソフトウェアのセグメントで、5年間のCAGRは、それぞれ20・3％および17・1％で、市場全体の成長率を上回る。

3Dプリンティングへの支出額が最も多い産業分野は組立製造業で、予測期間を通じて全支出額の半分以上を占めている。2番目は医療サービス関連で、2019年の支出額は約18億ドル。そして、教育（12億ドル）、専門サービス（8億9800万ドル）が続いている。一般消費者の支出額は6億4700万ドルで、総支出額の5％未満となっている。なお、2022年には、プロセス製造分野が一般消費者セグメントを追い抜き、全体の5番目になるとIDCは予測している。予測期間中に最も急成長する産業分野は、医療（29・8％のCAGR）および交通運輸（28・3％のCAGR）。

3Dプリンティングの主なユースケースは、プロトタイプ、補修用パーツ、新製品用パーツで、この3つは、組立製造業における上位ユースケースであり、2019年時点では、これらのユースケースが全世界の支出額の43％を占めている。今後、医療サービス分野の支出増加にともなって、2022年には歯科用造形物および医療補助用造形物がそれぞれ4番目と5番目に大きいユースケースになり、その次は僅差で専門工具となる。今後最も急成長が見込まれるのは、医療サービス分野のユースケースで、人工細胞／人工臓器／人工骨（42・9％のCAGR）および歯科用造形物（33・1％のCAGR）となっている。

マニュアル制作のプロ集団。
螢印刷が理想とする取扱説明書は、「瞬間伝達」「瞬間理解」です。
“見る人の「五感に訴える」”
そんなマニュアルづくりを目指しています。
理解のしやすさに妥協を許しません。
見やすさの追求 五感に訴えるマニュアル 表現の研究・選定 素材の活用・配色
螢印刷株式会社
〒559-0006 大阪市住之江区浜口西1丁目13番3号
TEL.06-6676-1900(代表) FAX.06-6676-5522 http://www.hotaru-printing.com/

中古印刷関連機器
USED PRINTING & RELATED MACHINERY
高価現金買取致します
印刷・製本・紙工機械
お気軽に相談ください
JAY CO.JP (株)ジェイ エンタープライズ
TEL.03-5706-5100
URL: www.jay.co.jp E-mail: sunish@jay.co.jp

swissQprint
Perform beyond the average
speed – quality – versatility
New: Generation 3
ワイドフォーマットプリンタに求めるもの…
多彩な用途か、それとも高い生産性か。
すべてを兼ね備えたプリンターが、今ここに。
swissQprint - 新たに拡がる可能性。
www.swissqprint.co.jp
High-End UV Inkjet-Systeme
Engineered and manufactured in Switzerland